フォトマッハジェット・カラープリンタ
PM-9000C
セットアップガイド

セットアップ作業を行われる方へ

本製品の開梱・据置作業が完了しましたら、本書を参照してセットアップ作業を行ってください。本書には、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順と注意事項が記載されています。作業を安全に正しく行うために、必ず本書の手順に従ってください。

目次

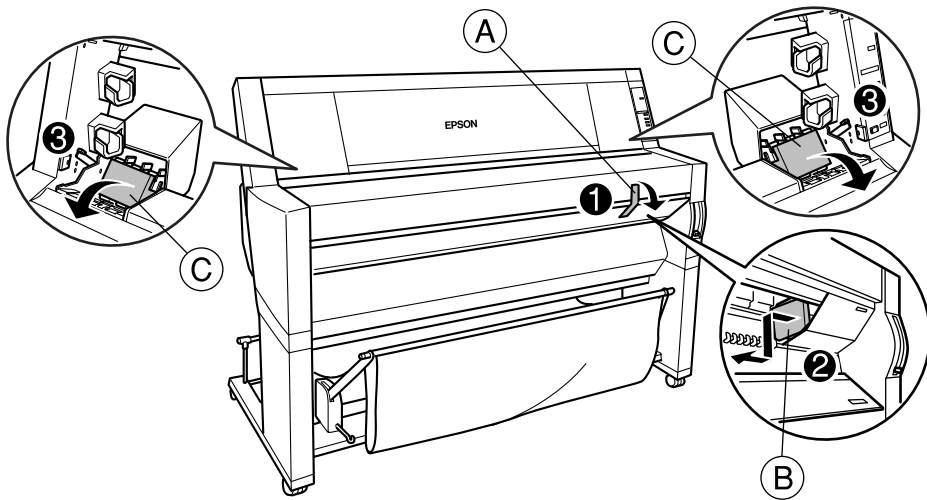
PM90CML2
4010175
S01-00

●保護材の取り外し

本製品にはⒶ～Ⓒの３個所に保護材が取り付けられています。以下の手順に従って全ての保護材を取り外してください。

❶ Ⓐフロントカバー固定用テープを外します。

❷ フロントカバーを開けⒷプリントヘッドユニット固定用保護材（スチロール）を外します。

❸ 左右のインクカートリッジ挿入部のⒸ保護材（ダンボール）を外します。

●付属品の取り付け

⚠注意

作業の前に必ずユーザーズガイド巻頭の「安全にお使いいただくために」をお読みいただき、正しい取り扱いをしてください。

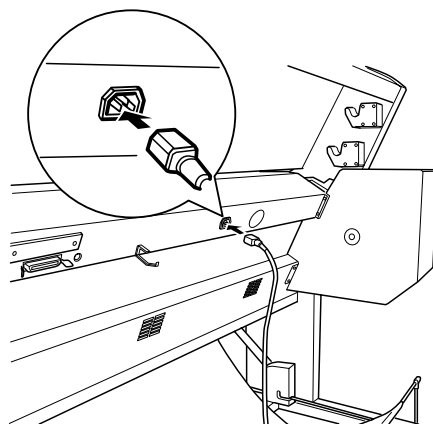
電源ケーブルの接続

⚠警告

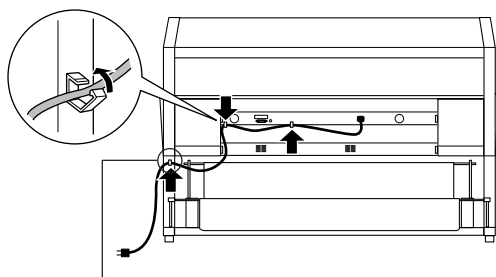
添付されている電源ケーブル以外の電源ケーブルを使用しないでください。

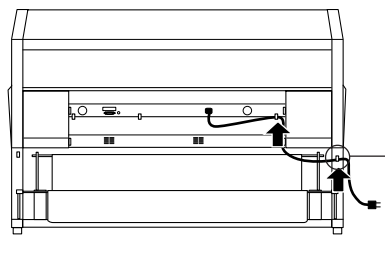
感電・火災の原因となります。

❶ プリンタ本体の 電源 スイッチが OFF になっていることを確認します。

❷ プリンタ背面の AC インレットに電源ケーブルを接続します。

❸ 電源ケーブルをプリンタ脚部のクランプに取り付けます。

据置場所によりプリンタ脚部の左または右にケーブルを配線してください。

■脚部左に取り付ける場合

付属のクランプを取り付けてからケーブルをセットします。

■脚部右に取り付ける場合

付属のクランプを取り付けてからケーブルをセットします。

⚠警告

表示されている電源(AC100V)以外は使用しないでください。

指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。

発熱し火災の原因となります。

電源コンセント(AC100V)から電源を直接取ってください。

電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると火災の原因となります。

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

アース線を接続しない状態で使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

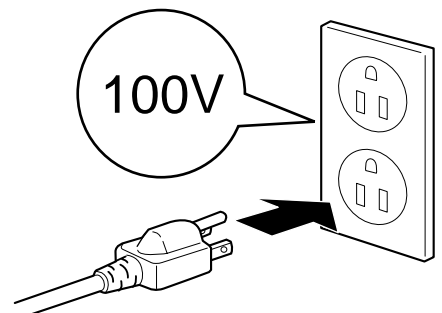
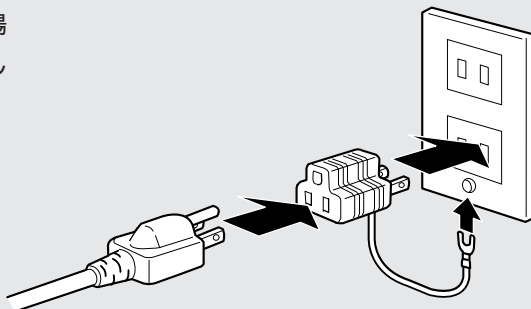
万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、3芯のプラグを接続できない場合は、3芯2芯変換コネクタのアースを必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- 接地工事(第3種)を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発の危険があります)
- 電話線用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる可能性があるため危険です)
- 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません)

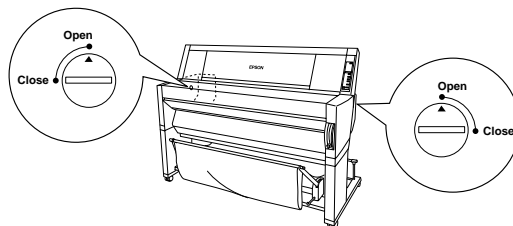
❹ 電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

コンセントに３芯のプラグを差し込めない場合は、付属の３芯２芯変換コネクタを使用してください。

３芯２芯変換コネクタのアースを次のいずれかの場所に必ず接続してください。

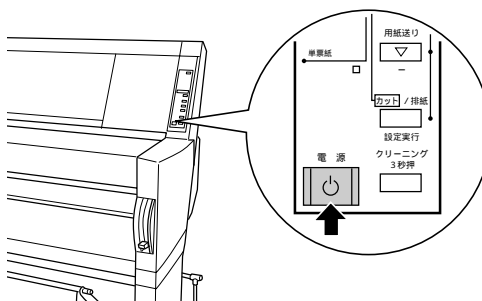
- **電源コンセントのアース端子**
- **銅片などを650mm以上地中に埋めた物**
- **接地工事（第３種）を行っている接地端子**

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

インクカートリッジの取り付け

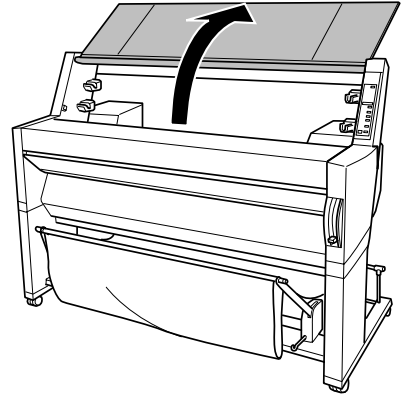
６個のインクカートリッジを所定の場所に取り付けます。

❶ 左右のインクカートリッジ収納ボックスにあるインクのバルブの▲マークが「Open」位置になっていることを確認します。

❷ プリンタの 電源 スイッチをオンにします。

プリンタは初期動作[*1] を行います。
インクエンドランプが点灯し、パネルに「インクヲセットシテクダサイ」と表示されます。

*1 初期動作：電源スイッチをオンにしたときに行われる、プリンタのウォーミングアップです。プリントヘッドが左右に少し動き、エラー状態などを検査します。

❸ 用紙カバーを開けます。

⚠ 注意

用紙カバーの開閉時には、指を挟まないように注意してください。

❹ インクカートリッジを袋から出します。

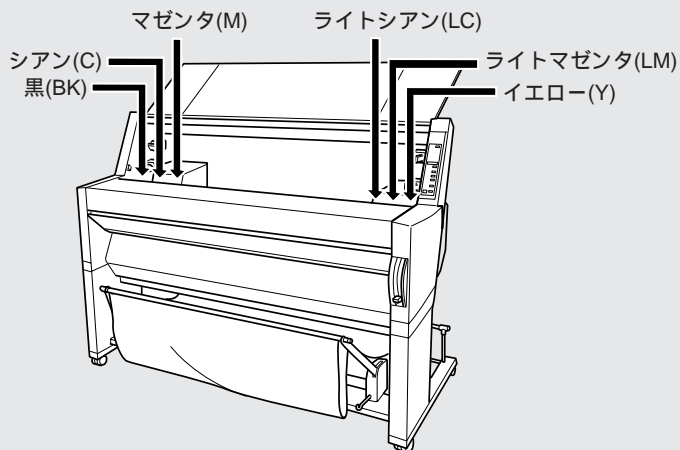
⚠ 注意

インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。

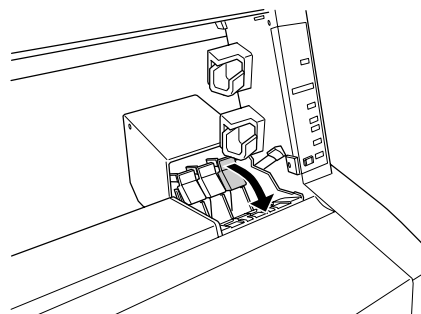
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

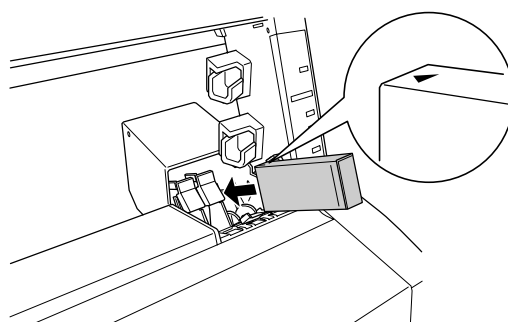
インクカートリッジは強く振らないでください。

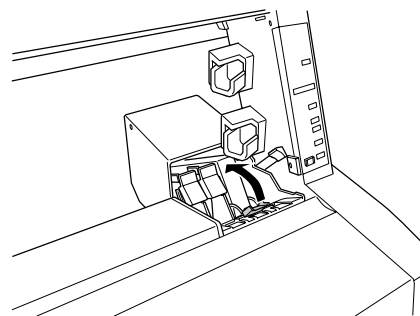
強く振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。

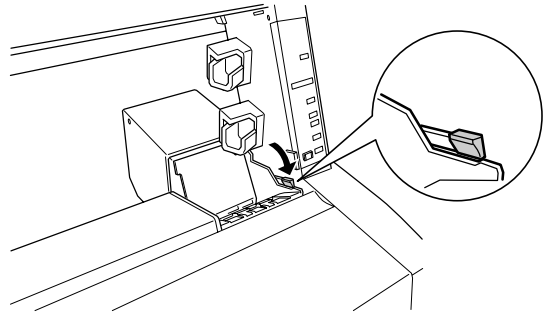
- **インクカートリッジはどの色から取り付けてもかまいませんが、色によって装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークの色と型番（IC1＊03）、インクの色と型番を合わせて取り付けてください。**
  ここではイエロー→ライトマゼンタ→ライトシアン→マゼンタ→シアン→黒の順番で取り付けます。

- **インクカートリッジは誤挿入防止構造になっています。スロットにスムーズに挿入できない場合は、誤挿入の可能性があります。無理やり押し込んだりしないでください。**

❺ イエローのカートリッジスロットにイエローのインクカートリッジを取り付けます。

① カートリッジ固定レバーを手前に倒します。

② インクカートリッジの▲マークを上にして、プリンタ側に向けて挿入します。

インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入してください。

③ カートリッジ固定レバーを向こう側に倒します。

正しくセットされるとインクエンドランプが消灯します。

❻ ❺の①から③の作業を繰り返してライトマゼンタとライトシアンのインクカートリッジも取り付けます。

❼ ノブを押してインクカートリッジ収納ボックスを閉じます。

❽ ❺の①から③の作業を繰り返してマゼンタ、シアン、黒のインクカートリッジを取り付けます。

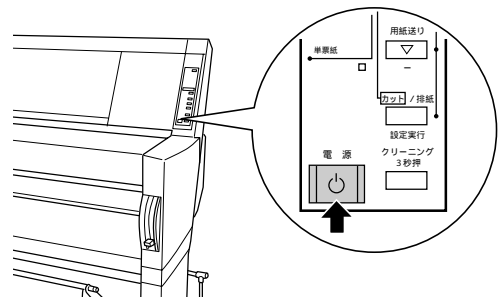
❾ ノブを押してインクカートリッジ収納ボックスを閉じます（手順❼参照）。用紙カバーも閉じてください。

6個のインクカートリッジが全て取り付けられて、6つのインクエンドランプが消灯するとパネルに「シバラクオマチクダサイ」と表示され、自動的にインクの初期充てんが始まります。インクの充てん中は印刷可ランプが点滅します。**インク充てんは約7分かかり、7分の間に充てん動作と休止動作を繰り返します。** 印刷可ランプの点滅が止まると充てんが終了します。

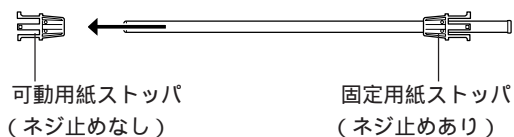
注 意

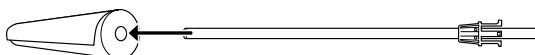
インク充てん中は以下のことを必ず守ってください。

- **電源 スイッチをオフにしない**
- **電源ケーブルを抜かない**
- **フロントカバーを開けない**
- **用紙セットレバーを上げない**

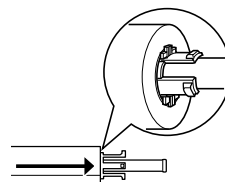
❿ 初期充てんが終了し、印刷可ランプの点滅が止まっていることを確認してから、 電源 スイッチをオフにします。

ロール紙の取り付け

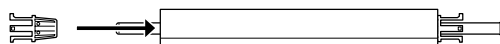
❶ スピンドルにセットされている可動用紙ストッパを取り外します。

可動用紙ストッパをスライドさせて外します。

❷ スピンドルにロール紙をセットします。

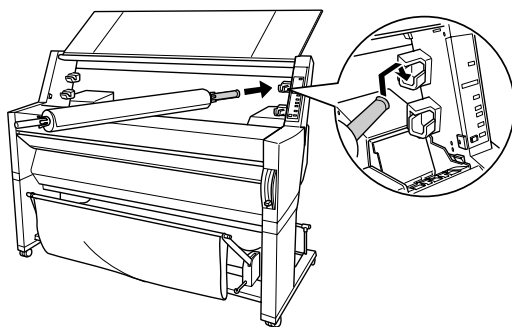
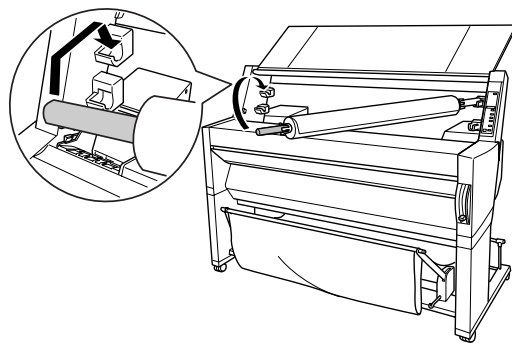
① 固定用紙ストッパ方向から見て左巻きになるようにロール紙をセットします。

ポイント

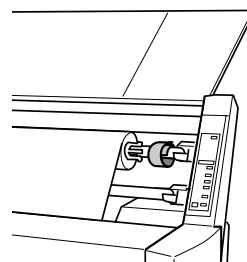
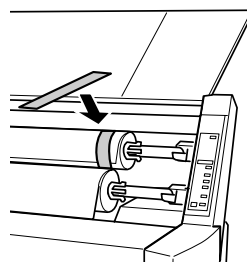
ロール紙は机の上など平らな場所に置いた状態でセットしてください。

② 固定用紙ストッパにロール紙の芯が固定されるまで押し込みます。

❸ 可動用紙ストッパを取り付けます。

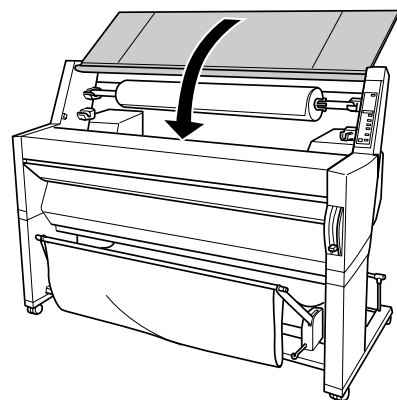
ロール紙の芯にしっかり固定されるまで押し込みます。

❹ 固定用紙ストッパ側を右側にして持ち、プリンタ右側のスピンドル受けにセットします。

注 意

スピンドル受けの色とスピンドル端部の色を合わせてセットしてください。セット方向を間違えると正常な給紙ができません。

❺ 可動用紙ストッパ側をプリンタ左側のスピンドル受けにセットします。

同梱されているロール紙固定ベルトは、プリンタにセットされている未使用のロール紙の巻きほぐれを防止するためのベルトです。ベルトの端をロール紙に当てると、ベルトは自動的にロール紙に巻き付きます。必要に応じてお使いください。

未使用時には、スピンドルの端に巻き付けておくこともできます。

❻ 用紙カバーを閉じます。

⚠ 注意

用紙カバーの開閉時には、指を挟まないように注意してください。

●オプションの取り付け

オプションを同時購入されて取り付ける場合は、以下の参照先をご覧いただき、作業を行ってください。

● インターフェイスカード ☞ユーザーズガイド「インターフェイスカードの取り付け」

● 自動巻き取りユニット ☞自動巻き取りユニットに添付の取扱説明書

⚠ 注意

インターフェイスカードやオプション製品を接続するときは、必ずプリンタ本体の電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電の原因となることがあります。

各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている通りの配線をしてください。

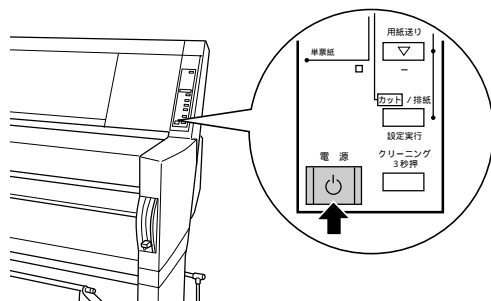
配線を誤ると、火災のおそれがあります。

●動作確認

プリンタが正常に動作するかを確認します。ここでは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか（目詰まりチェック）、双方向印刷時にプリントヘッドのズレが生じていないか（ギャップ調整）を確認します。

用紙のセット

❶ プリンタの 電源 スイッチをオンにします。

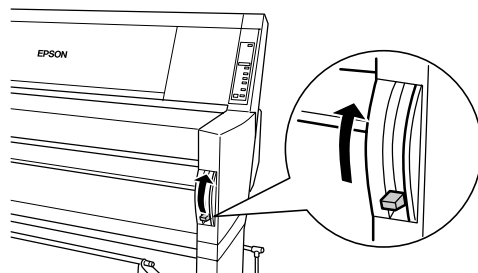
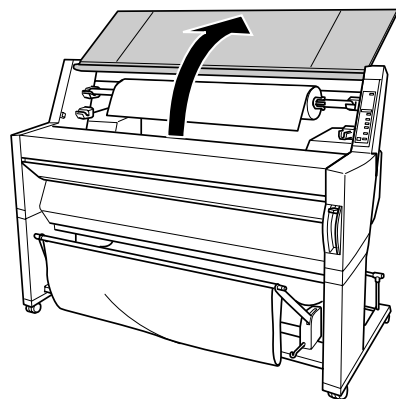
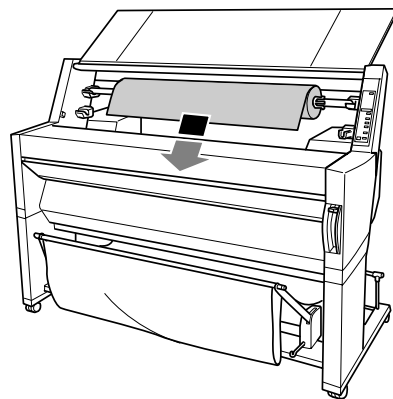
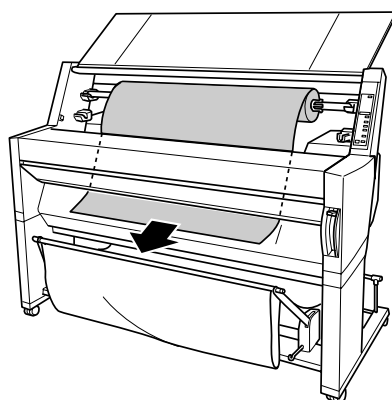
電源ランプが点灯します。

❷ 用紙選択 スイッチで「ロール紙自動カット」を選択します。

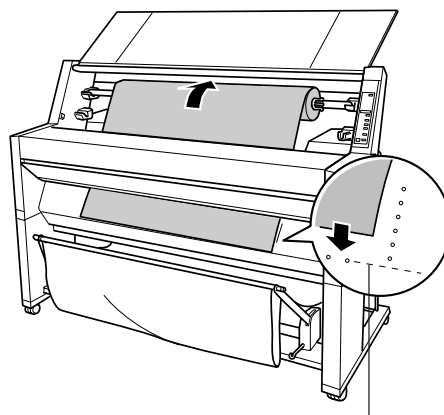
❸ 用紙セットレバーを上げます。

注 意

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを上げないでください。

❹ 用紙カバーを開けます。

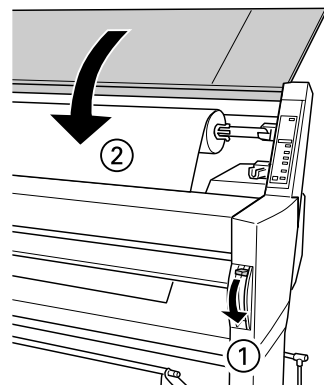
⚠注意

用紙カバーの開閉時には、指を挟まないように注意してください。

❺ロール紙を給紙スロットにセットします。

❻フロントカバーの下方からロール紙を引き出します。

❼スピンドルを持ってロール紙を少し巻き戻し、用紙のたわみを取り除きます。

ロール紙の先端を用紙セット位置に合わせてください。

ロール紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短かすぎるとエラーになります。正しい位置でセットしてください。

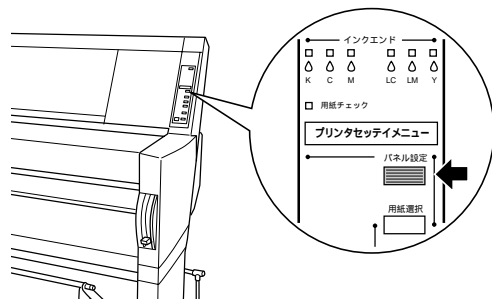
❽ **用紙セットレバーを下に降ろしてから、用紙カバーを閉じます。**

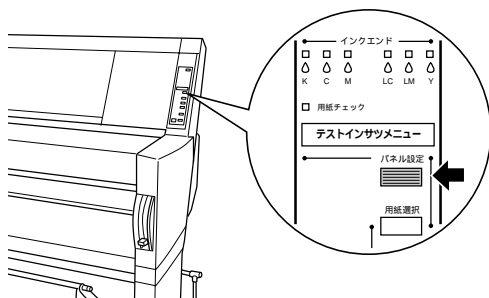
「インサツカスイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

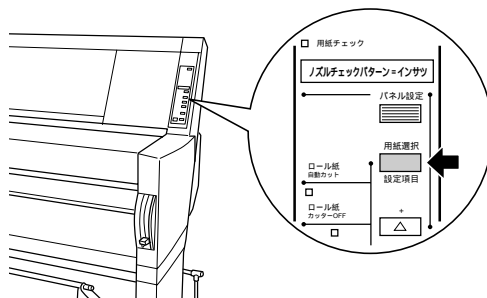
> **ロール紙の先端に汚れや折れなどがある場合は、カット/排紙 スイッチを押して、先端部をきれいに切り揃えてください。**

印刷可 スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると、自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を巻き上げて待機し、パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

目詰まりパターン印刷

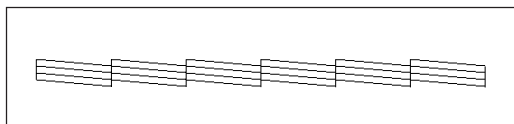
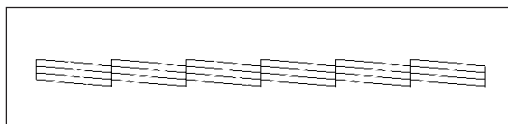
❶ **パネル設定 スイッチを押して、パネル設定モードに入ります。**

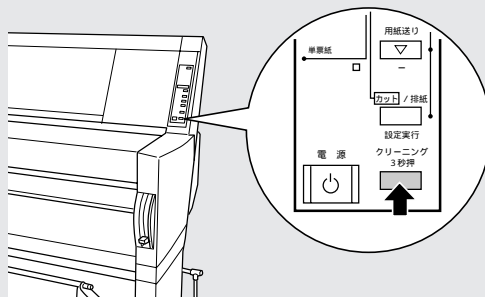
パネルに「プリンタセッテイメニュー」と表示されます。

❷ **パネル設定 スイッチをもう１回押します。**

パネルに「テストインサツメニュー」と表示されます。

❸ 設定項目 スイッチを押します。

パネルに「ノズルチェックパターン=インサツ」と表示されます。

❹ 設定実行 スイッチを押します。

目詰まりパターンが印刷されます。

■良い例

■悪い例

悪い例のように目詰まりパターンが欠けている場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

ヘッドクリーニングは クリーニング スイッチを 3 秒押すと実行します。

ヘッドクリーニングを実行したら、再度目詰まりパターンの印刷を実行してください。ヘッドクリーニング後も目詰まりパターンが欠けている場合は再度クリーニングを実行してください。数回クリーニングを行っても改善されない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

続いて「ギャップ調整」を行います。

ギャップ調整

❺ パネル設定 スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。

❻ 全ての調整パターンを印刷してみます。

> ギャップ調整の全ての調整パターンを印刷すると、約25分かかります。ロール紙を約1.5m使用します。

① 設定項目 スイッチを押すと「ヨウシアツ＝ヒョウジュン」と表示されます。設定実行 スイッチを押します。

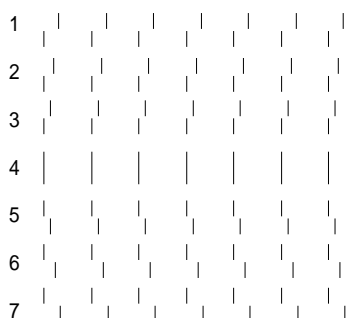
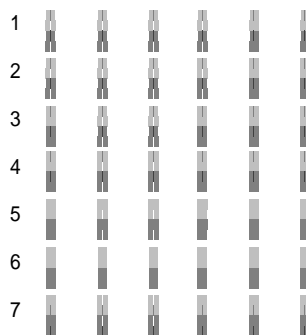
②「チョウセイ＝ゼンブ」と表示されていることを確認して 設定実行 スイッチを押します。
「チョウセイパターン インサツチュウ」と表示されて全ての調整パターンが印刷されます。

■印刷例

（＃6、＃8 以外のパターン）

1
2
3
4
5
6
7

（＃6、＃8 のパターン）

1
2
3
4
5
6
7

- 印刷例のように全ての調整パターンのパターン番号４が最もズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形になっている場合はプリントヘッドのギャップ調整を行う必要がありません。印刷可 スイッチを押してパネル設定モードを終了し、手順⓫に進んでください。
- 調整パターンごとに最もズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形が４以外になっている場合は、手順❼に進んでください。

印刷が終了するとパネルに「＃１セッテイ＝４　＊」と表示されます。

❼ 印刷されたシートを見て、調整パターンごとに最もズレの少ないパターン番号を探します。

❽ 設定項目 スイッチを押すたびに、調整パターン名が以下の順に変わります。調整パターンごとに❼で探した最もズレの少ないパターン番号（１～７）を登録します。

調整パターン（設定項目）	パターン番号（設定値）
＃1セッテイ	１～７（４が初期値）
＃2セッテイ	１～７（４が初期値）
＃3セッテイ	１～７（４が初期値）
＃4セッテイ	１～７（４が初期値）
＃5セッテイ	１～７（４が初期値）
＃6セッテイ	１～７（４が初期値）
＃7セッテイ	１～７（４が初期値）
＃8セッテイ	１～７（４が初期値）
＃9セッテイ	１～７（４が初期値）
＃10セッテイ	１～７（４が初期値）
＃11セッテイ	１～７（４が初期値）
＃12セッテイ	１～７（４が初期値）

パターン番号を変更する場合は、以下の手順に従ってください。

① 設定項目 スイッチを押して設定値を変更する調整パターン名を選択します。

② ＋ または － スイッチでパターン番号（１～７）を選択します。
＋ を押すと、設定値の数値が増加します。
－ を押すと、設定値の数値が減少します。

③ 設定実行 スイッチを押すと、設定値の後に＊（アスタリスク）マークが付き、選択した値を登録し、次の調整パターン名を表示します。

④ ①～③の作業を繰り返して、変更が必要な全てのパターンについて設定をします。

❾ 設定が終了したら、再度調整パターンの印刷を行い（手順❺〜❻参照）、調整が正しくされたことを確認します。

再印刷した結果、各調整パターンのパターン番号4が最もズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形になっていれば調整が正しく行われています。

ポイント

- **調整が正しく行われていない場合は、再度❼〜❽の手順を繰り返してください。**
- **全部の調整パターンを印刷する必要がない場合は、以下の手順で任意のパターンのみを印刷させることができます。**

  ① [パネル設定] スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。

  ② [設定項目] スイッチを押して「ヨウシアツ＝ヒョウジュン」と表示されたら、再度 [設定実行] スイッチを押します。「チョウセイ＝ゼンブ」と表示されます。

  ③ [＋] または [－] スイッチで印刷したい調整パターン名を選択して [設定実行] スイッチを押します。パネルに「チョウセイパターン インサツチュウ」と表示されて任意のパターンを印刷します。

  ④ パターン番号 4 が最もズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形になっているかを確認します。
  4 以外になっている場合は再調整します。

❿ [印刷可] スイッチを押して、パネル設定モードを終了します。

パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

⓫ [電源] スイッチをオフにします。

以上でセットアップ作業は終了です。
続いてコンピュータとの接続、プリンタドライバのインストールを行います。

●●● ユーザーズガイドへ →

PM-9000C セットアップガイド

EPSON

● FAX インフォメーション

EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。最新ドライバ情報、Q&A集など製品のご使用に際しても有効な情報が24時間いつでも取り出せます。ファクシミリ付属の電話機(プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種)から電話をおかけになり、音声案内に従って操作ください。

札幌(011)221-7911　東京(042)585-8500　名古屋(052)202-9532
大阪(06)6397-4359　福岡(092)452-3305 にお電話ください。

ご要望の情報は、情報番号00のメニューでご確認ください。

●エプソン販売のホームページ「I LOVE EPSON」

エプソンではホームページ「I LOVE EPSON」を開設しています。各種製品情報をはじめ最新のイベント&フェア、各種ドライバ類の提供、サポート案内など、エプソンのさまざまな情報を満載した楽しいホームページです。どうぞお気軽にご覧ください。(http://www.i-love-epson.co.jp)

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンのFDを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

札幌(011)222-7931　仙台(022)214-7624　東京(042)585-8555
名古屋(052)202-9531　大阪(06)6399-1115　広島(082)240-0430
福岡(092)452-3942

【受付時間】月～金曜日 9:00～20:00　土曜日 10:00～17:00　(祝日・弊社指定休日を除く)

※電話のかけまちがいが増えておりますので、番号をよくお確めの上おかけください。

●パソコンスクールに関するお問い合わせ・お申し込みは、

東京(秋葉原)　TEL(03)5295-4169　FAX(03)5295-4168
【受付時間】9:30～12:00/13:00～17:00(土・日・祝日、弊社指定休日休み)

大阪(日本橋)　TEL(06)6634-8570　FAX(06)6634-2570
【受付時間】10:00～12:00/13:00～17:00(水・弊社指定休日休み)

※スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認いただけます

●ショールーム

東京　〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-7　【受付時間】10:00～18:00　※土・日・祝日もオープン
大阪　〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-4-20　【受付時間】10:00～18:00　※土・日・祝日もオープン(水曜休館)

●修理に関するお問い合わせ(出張修理・保守契約)

修理に関するお問い合わせ、出張修理、保守契約のお申し込みは、下記フィールドセンター(FC)・サービスセンター(SC)まで、ご連絡下さい。

拠点名	電話番号	住　所	管轄地域
札幌FC	(011)222-7590	〒060-0034 札幌市中央区北四条東1-2-3札幌フコク生命ビル10階	北海道全域
仙台FC	(022)214-7625	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-1仙台セントラルビル4階	青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
松本FC	(0263)54-7302	〒399-0785 塩尻市広丘原新田80 セイコーエプソン㈱ 広丘事業所内エプソンシステムプラザ3階	長野・山梨・新潟
東京FC (出張修理・保守契約)	(0424)80-2891	〒182-0024 東京都調布市布田1-29-2ビルディング川口5階	東京・埼玉・栃木・群馬・千葉・茨城・神奈川
東京SC	(0424)80-4811	〒182-0024 東京都調布市布田1-29-2ビルディング川口4階	東京・埼玉・栃木・群馬・千葉・茨城・神奈川
名古屋FC	(052)202-9510	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目16-15名古屋フコク生命ビル4階	愛知・岐阜・三重
静岡FC	(054)251-1360	〒420-0851 静岡市黒金町11-7三井生命静岡駅前ビル8階	静岡
金沢FC	(076)224-7084	〒920-0031 金沢市広岡1-1-35金沢第二ビル8階	石川・富山・福井
大阪FC	(06)6397-0930	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24新大阪第一生命ビル6階	大阪・兵庫・奈良・和歌山
京都FC	(075)255-6891	〒604-8187 京都市中京区御池東洞院西入る笹屋町435 京都御池第一生命ビル4階	京都・滋賀
広島FC	(082)240-0725	〒730-0029 広島市中区三川町7-1セイコー広島ビル5階	山口・広島
岡山FC	(086)223-3331	〒700-0904 岡山市柳町1-12-1三井海上岡山ビル2階	鳥取・島根・岡山・広島(福山市)
四国FC	(087)851-6728	〒760-0023 高松市寿町2-3-11高松丸田ビル6階	香川・愛媛・高知・徳島
福岡FC	(092)622-8626	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75初光流通センタービル3階	福岡・佐賀・長崎・大分
熊本FC	(096)326-4519	〒860-0806 熊本市花畑町12-24フコク生命熊本ビル3階	熊本
鹿児島FC	(099)254-5913	〒890-0053 鹿児島市中央町9-1西鹿児島第一生命ビル3階	鹿児島・宮崎
沖縄SC	(098)858-3301	〒900-0027 那覇市山下町5-21沖縄通関ビル4階	沖縄

●持込修理

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センター、サービスセンター(SC)まで送付願います。

拠 点 名	電話番号	住　所
札幌修理センター	(011)219-2886	〒060-0034 札幌市中央区北四条東1-2-3札幌フコク生命ビル10階 エプソンサービス㈱
松本修理センター	(0263)86-7660	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱
福岡修理センター	(092)622-8922	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75初光流通センタービル3階 エプソンサービス㈱
沖縄SC	(098)858-3301	〒900-0027 那覇市山下町5-21沖縄通関ビル4階 エプソン販売㈱

【受付時間】9:00～17:30　月曜日～金曜日(祝日を除く)

●消耗品は、お近くのEPSON商品取扱店及び
エプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル(0120)251-528 でお買い求めください。

エプソン販売株式会社　〒163-0855 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル11階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

98.11.20

この取扱説明書は 70% 再生紙を使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

EPSON

Printed in Japan 98.xx-xx